

刊夕日三月十



定価 一冊五銭 一月一元五角 半年七元五角 一年十二元
 発行所 常磐新聞社 印刷所 常磐新聞社
 社址 福島県郡山市常磐町一丁目
 電話 二二七番

素晴しき躍進の

簡易保険と郵便年金

平野便局長 佐藤守節

【三】

一方民衆側に於ける本制度の理解研究は近年頓に盛になり合理的、積極的に之を利用する様になつて來たが最近

△團體的に加入し之を利用する向が多くなつたと

△保険料の生み出しや拂込方法が合理的經濟的になつて來たこと

は洵に喜ぶべき傾向と云ふべきである。團體加入と云ふのは町村部落その他の團體が申合せて團體的に加入するものであるが、その大部分は、團體特別取扱制度(被保険者十五人以上團體となり保険料を取纏めて拂込む方法で、保険料の五分の割引あり、またそれを六ヶ月分以上前納する場合は九分の割引を爲す有利且つ便利な制度である)を利用してゐるのである。その一二の例を述べれば

× 山形縣鶴岡市最上町の簡易保険組合等は其の代表的のもので現在の組合員約五

百名、其の加入件数は實に七百倍に垂んとして居り、一ヶ月の保険料も三百圓を遙かに超えてゐる状況で、組合の代表者廣木氏はすべ

ての世話を掌り年額約二百圓に上る保険料の割引金は町内福祉増進に利用され秋には結球白菜、甘酒糍等を共同購入して臺所經濟に資し、又は青年會の事業費に充當し或は敬老會費に投じ

【朝】

清汁とろろこんぶ
 花かつを
 小井 栗ふくめ
 【晝】秋刀魚鹽やき 大根 おろし
 【晚】吉野煮(鶏肉 栗 木茸等くづ煮) 清汁(花萩 三葉)

△又組合員の長壽祈願祭を行ふとかと云ふ風に極めて有効に之を使用せざしき活動を爲してゐるのである。

又岩手縣一關局區内の三村十四部落民は各保險團體を組織して加入し其の代表者には區長又は有力者が當つて割引金は貯金として農具共同購入資金に充てゝゐる。尚一關局區内ではこの團體の他に約百組の團體組織がある。

世界三聖を語る

眞繼 雲山

【二】

酒と牡丹餅は採るに任ずればよいので質の優秀は到釋すべき限りでない、これをもし己が好むに統一せんとしふは梅も櫻も一緒にしな最論である。

基督教は西歐文明に培ふて來たこと深い。東洋道德は儒佛二教に負ふところ甚だ多い。交通開け文運進みて互にその長を採ること、固より可。而かもこれを擴大し、佛敎を以つて世界を統一せんとしふは當らず、

近ごろ外國人の佛敎熱、流行するは有り難いが、碧眼茶毛の袈裟衣姿は今一息也矢はり彼れ等には敎會でのアーメンが相應しい、これは理窟ではなく傳統の力である。日本人にメートル法を強制するはアーメンを強制するに近し、酒旨ければとて牡丹餅の代用とはならず、基督教を以つて日本の國教と強いは忽ちにして佛徒の判亂あらん。

市原醫院

平町・四町 電話一四四番

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお奨め致します

喜多流 仕舞 白土會
 平町田町六九 電話一二七番
 入會隨時

平岡詔 電話624

諸機械製作販賣

會社名 田邊製作所
 平白銀町(驛前通) 電話二九四番

機械切各種齒車製作

平町才樋小路

大河内接骨院

電話五八八

つねに ぼね

新製秋冬紳士服御誂 御假縫仕立入念奉仕!

背廣三ツ袖 金二十圓より
 オールバック各種 金十五圓より
 モーニング 着 金十二圓より
 二重廻り 着 金二十七圓より
 東コート 着 金十六圓より

御注文一着毎に抽籤券進呈 (但シ金參拾圓以上)
 感謝品景提
 (一等) モーニング及編スボン一着分 一本
 (二等) ラクダオーバ、コロンチング一着分 一本
 (三等) 合背廣服生地一着分 一本
 (四等) 當店發行金拾圓券一枚
 (五等) カフスボタン一組宛
 以上全部總當り

抽籤發表 昭和三十二年一月十五日 嚴正に抽籤施行

福永洋服店

福島縣平町田町十九 末廣料理店前 電話二二八

外科一般 レントゲン科 内臓外科

北川外科

平町新川町二七(諸橋醫院跡) 醫學博士 北川芳夫 小林良次 電話四六四番 (血液検査毎日) イツデモ入院出來マス

秋味覺の秋

海老料理初めました 何卒御試食下さい
 天井 三十錢
 フライ 廿五錢
 天ぷら 廿五錢
 此外御注文に應じ色々調理致します

魚清食堂

原宿六三三

恐怖のギヤング・颪風

魔の進撃!

各河川早くも増水、氾濫して

不気味な不安募る

物凄く空のギヤングー 颪風襲来の警報が發せられて以來無気味な沈黙を守り「事なかれ

風雨後曇明日は北西の風クモリ」の豫報に幾分の期待はかけられるが未だく不水氾濫の危険を孕んでゐる

安の一掃とまでは安心出来ず平地方の河川は早くも増水氾濫の危険を孕んでゐる

一路東北へ

かし「何れも祈つてゐるが平地方は二日午後四時から降り出した雨か本朝になつて一時止んだと思ふまもなく正午頃から俄然颪風近づくと思はせる風さへ加はる

豪雨と化して依然として暴しの前々の無気味さを續けてゐるが二日正午瀧美大島の南東七〇キロの海上に移動した颪風は内地へ内地への恐るべき突撃隊を編成、進路を東北に向けて時速三〇キロの進撃を続け

タスピードアップの傾向を示して居り東京方面は最危険區域と目されてゐるため嫌でも颪風との一戦免がれぬ模様で當平地方でも三日午前九時半頃小名濱並に福島兩測候所から「愈々颪風近づき風雨強かるべし」の警報が發せられて颪風を迎へての一戦は既に覺悟されてゐるがひねくれものゝ空のギヤングは何も變化するかは全く不明で僅かに小名濱測候所の「今晚は北東の

警察當局が交通災害事故防止に大童の努力をしてゐる反面最近近代科學の發達に伴つて自動車の交通災害事故は逐年増加の傾向にあり縣下に於ける昨年の其總件數は三百三十六件、死者數四百一名、物件損害額二萬一千餘圓の多きに達し前年度と比較すれば四十四件、死者數八十四名、損害一萬二千餘圓の増加である、右の如き事故の原因は一般民衆の交通訓練の欠如と交通道德の弛緩に基づく一方自動車の構造設備の不完全、自動車の制限速度の超過並自動車の制速力の不意怠慢等に基因することも多々あるのに鑑み縣保安課では縣自動車協會とタイアップして来る十四、五、六の三日間左議事項によつて交通安全デ

あの手此の手から 交通安全事故防止 保安、自動車協會主催で 全縣下の交通安全デー開催

警察當局が交通災害事故防止に大童の努力をしてゐる反面最近近代科學の發達に伴つて自動車の交通災害事故は逐年増加の傾向にあり縣下に於ける昨年の其總件數は三百三十六件、死者數四百一名、物件損害額二萬一千餘圓の多きに達し前年度と比較すれば四十四件、死者數八十四名、損害一萬二千餘圓の増加である、右の如き事故の原因は一般民衆の交通訓練の欠如と交通道德の弛緩に基づく一方自動車の構造設備の不完全、自動車の制限速度の超過並自動車の制速力の不意怠慢等に基因することも多々あるのに鑑み縣保安課では縣自動車協會とタイアップして来る十四、五、六の三日間左議事項によつて交通安全デ

を主催することになつた△宣傳ポスターを掲示すること△交通安全セロファン・ポスターを自動車に貼布すること△自動車運轉手に「交通安全」の腕章を巻かしむること△營業者並従業者に對し交通安全祈願をなさしむること△小學校において交通安全に關する講演をなすやう交渉すること△各劇場の幕合を利用して警察署員が講演をなすこと△各警察署樓上に交通安全に關する標語を染め抜きたる大旗を立て又は懸くこと△活動寫眞字幕に交通安全

全に關する標語を映寫せしむること 共販米下る 石城販聯の俵米定期共販は一日午後から平農倉で行はれたが出荷三百二十六俵で相場は左の如く新米出廻り近づいたため前回に比し二十錢安く平二號、平産は不調に終つた 平一圓四二錢 大野一、七二 小川一、五 一草野一、五八 鹿島一、四七 警中野球部 新編成... 先輩軍と一戦 過般の縣下大會に優勝した警中野球部は來年度の制覇を目ざし早くも練習を開始目下新人の養成に勤めてゐるが明日午前時時から平

町に於ける先輩軍と一戦を交へる事になり最初の試合だけに一般ファンの人氣を博してゐる編成された新ナインは左の如し △投手四年鈴木、三年來栖△捕手三年水野△一壘一年吉江△二壘三年蛭田△三壘一年鶴沼、三年石橋△遊撃四年矢代△左翼四年遠藤△中堅二年根本△右翼二年馬目、同成瀬 小林所長奔走で 神白墜道 潰地圓滿解決 小名江名兩町間神白墜道改修は潰地所有者十餘名中に五名の不承諾者あつて解決に至らず憂慮されてゐたが昨日小林平土木監督所長が出張、不承地地主と懇談奔走した結果、最後の土地收買法の適用を見ずして圓滿解決を見るに至つた

蘭價又復下落調 裏切る前日の期待を 四倉市場取引愈々最高潮 愈々出廻り最盛期に入つて待望の五圓臺を突破する十八錢の高値を現出して地方養蠶家を喜ばせた四倉市場の晩秋蘭取引は高値期待裡に昨日開場したが期待を裏切つて出廻り千三百八十五貫、最高四圓九十五錢、最低三圓六十錢、平均四圓九十九錢で果然三十三錢の相場落を見て前日の高値に喜ぶ地方養蠶家を慨嘆させ

川崎造船見習 平方部採用者 既報去る三十日郡山市公會堂で行れた川崎造船所見習工採用試験の合格者は此程發表されたが平職業紹介所扱ひ受験者四十六名中左記十九名合格来る五日入所する事になつた 飯野小松富 小名濱警保

第二回警陽庭球大會 三十餘チーム出場 盛會豫想さる (勿來)中根一瀧 既報昨日の双中陸上運動會に開催された同校々友會主催の濱三郡學童繼走に出場した平第一校高等科チームは八百米を一分五十七秒の好記録で走破参加十二校を退け堂々優勝ある優勝

濱通學童繼走で 第一校堂々優勝 無念、尋常科チームは 三年連勝の夢破る 既報昨日の双中陸上運動會に開催された同校々友會主催の濱三郡學童繼走に出場した平第一校高等科チームは八百米を一分五十七秒の好記録で走破参加十二校を退け堂々優勝ある優勝

己 中村北原達男 同橋 賀修三 木戸村松本一 内一 鹿島稻崎三弘 大 好間猪狩卯平次 内郷野 野高木男平 好間池端正 木久 錦大内真事久之濱 三 双葉郡野伊藤直衛 片寄甚平 平小柳安之助 小高半谷富治 赤井猪狩 錦松澤静人 一夫 大浦久野隆 平志

平 雨 人 事 回 婚 姻 △埼玉縣大里郡花園町大字 永田一七一九野邊源吉氏 (三六)材木町二八遠藤テ ルさん(二七)

第二回警陽庭球大會 三十餘チーム出場 盛會豫想さる (勿來)中根一瀧 既報昨日の双中陸上運動會に開催された同校々友會主催の濱三郡學童繼走に出場した平第一校高等科チームは八百米を一分五十七秒の好記録で走破参加十二校を退け堂々優勝ある優勝

濱通學童繼走で 第一校堂々優勝 無念、尋常科チームは 三年連勝の夢破る 既報昨日の双中陸上運動會に開催された同校々友會主催の濱三郡學童繼走に出場した平第一校高等科チームは八百米を一分五十七秒の好記録で走破参加十二校を退け堂々優勝ある優勝

強豪 本田、室井、熊田三氏

本縣豫選をパス

譽れの全国大會出場

昨報二日福島武徳殿に開催された全国警官武道大會豫選に出場した平署の(剣道)本田、室井(柔道)熊田の各三段はいづれも成績抜群で奮戦の結果本縣代表七名中に選ばれ全國大會に出場することになった

運動會近づくと平局で打合せ

平局では来る十七日神嘗祭當日第三校庭で備す局員慰勞運動會の打合せを本三日午後一時から同局樓上で開く

秋の夕べ

映畫觀賞の會

平青年團修養部主催で

平青年團修養部は来る六日午後六時からオリムピック映畫觀賞會を催し他に「職業戦線への首途」三巻、ロイドの爆彈將軍、六巻、藤原義江、夏川静江主演「絆」をさめて九巻を上映する事になったがオリムピック熱のまださめやらぬ昨今人氣を博すものと見られる、會員券は大人二十銭子供十銭でマルトモ書店、魁文堂書店

簡易保險

巡回診療日割

濱通り地方簡易保險加入者の巡回健康診療は仙臺逓信局で左記日程に依り行はれる
十四日双葉郡瀧田、十五日同郡木戸、十六日同郡

島田農林大臣

陸軍大演習陪觀

島田農林大臣は北海道の大平原に行はれる陸軍大演習陪觀のため昨二日夜十一時二十七分の急行列車で平驛を通過

昨夜平驛通過

廣野、十七日四倉、廿五日小川村上平、廿六日合戸、廿七日小名、廿八日江名

養蠶室焼く、二日夜

十一時半頃草野村大字下神谷字宿農齋藤千代多方から發火、同十二時蠶室の一部を焼いて鎮火原因は火、灰の不始末から損害取調へ中

獵友會幹部會

獵友會平支部幹部會は本三日午前十時から平署會議室に開き總會日決定、並に縣獵友會内部機構改革案作成を協議した

現地講習並

石城中農事講習會 堅農民講習生は八日泉村志賀澤之助氏方で現地講習會を催すが講師は柴田技手

殴られた父親に加勢

相手を刺刀で斬る

傷害罪で略式處分

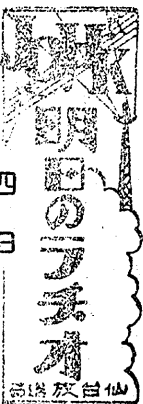
内郷村大字宮字宮澤川口善治方坑夫西村芳夫(三)は去る八月十二日夜勿來町大字酒井字出藏大日本炭礦勿來礦裏山の實父利次方で附近の人々と飲酒中居合せた橋本玉市が些細の事から口論の末利次さんを殴打したので憤慨の餘り刺刀で玉市の背部に斬付け全治二週間の背部切創を負はせ過般來平檢事局で氏家檢事の取調べを受けてゐたが今三日傷害

縣下市町長會

縣下市町長會は十日から二日間四倉町に開催されるので地元では協賛會を組織した

昭和人絹修養

昭和人絹會社の月例修養會は十二日午後六時から同講堂に開き、福島市方面委員鈴木默哉氏の講話ある筈



明日の予報

今晩は北東の風
雨後曇り日は北
西の風一時曇り

今晩の部

後六、〇〇 童話「月の精」
村野孝顯
後六、二五 講演 特別大演習陪觀に際して所感を述べ「寺内陸相」
後七、三〇 講演「オリムピックより歸りて」河西

運轉を誤り道路の大石に貸切車激突

乗客顔面に二週間の裂傷

川前村字仲流地内縣道で一日午後一時頃貸切車に乗客五名を乗せて運轉中の田村郡小野新町トシヤ自動車部運轉手吉田壽藏(三)君は前方から来たトラックを避けんとして道路の大石に衝突自動車窓ガラスを破壊破し乗客岡田高橋龜二郎氏は破片で顔面に全治二週間の裂傷を負つた

女子中等教員

縣下庭球大會

縣下女子中等學校教員の庭球大會は過般の校長會議の結果来る十七日安女コートに開催される事になったが警女からは大内一鈴木組が出場する事になり目下第一催される

國旗提灯
平町・田町
電話四七五番

郡下兒童唱歌

郡下兒童唱歌 石城教育會主催郡下小學校兒童

後八、三〇 陸軍特別大演習第一日 演習場地中繼
後九、〇〇 義太夫「義經」
後九、三〇 時報 ニュース 明日の話題 氣象通報 番組豫告
明日の部
前九、三〇 子供の時間 ラヂオ世界見物「北支那」尾崎秀實
前一〇、〇〇 北野神社瑞
後八、三〇 陸軍特別大演習第一日 演習場地中繼
前一〇、四〇 陸軍特別大演習第一日 演習場地中繼
後〇、三〇 六大學野球 明一帝 早一法戦(神宮球場中繼)
後六、〇〇 お伽漫談「チヨコ物語」徳川夢聲
後七、三〇 落語の夕小勝、柳枝、五藏、團生
後八、五〇 映畫劇「兄の誕生日」高田稔他

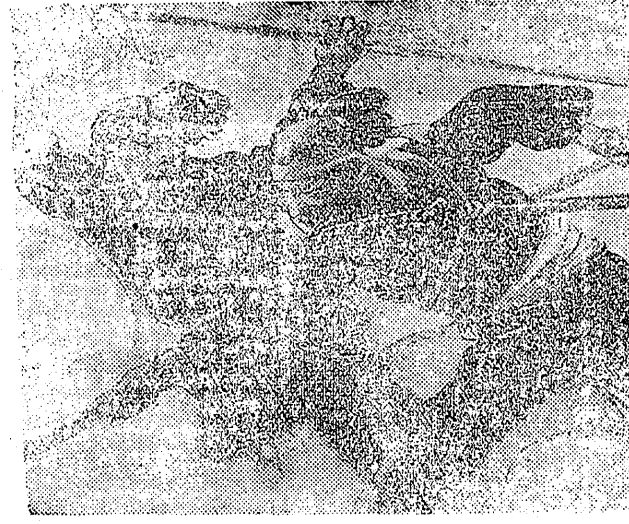
眼鏡
最新式レンズ
各目製
七〇六話電 目丁二町平



終る瓦解の役々

二三七 毒ならあたる
松前志摩守侯の居城福山
は同所地藏山の麓の小高き
ところあり搦手二丁程の
ところは嶮岨の坂です、そ
れに道路が屈曲して居つて
行軍には甚だ困難、城から
出てこの坂を下ると町です
この町から六、七丁はなれ
たところに出がわつてそれ
に法華寺といふ寺院があつ
てこゝへ幕軍は大砲を据え
付けて城をのぞんで射ち出
した。又兵を二つに分けて
大手とからめ手より同時に
攻め込むことになりました
この時城兵は二千人も居つ
た。さてからめ手へむかつ
た幕軍門を打ちやぶらうと
したが堅牢な鐵門とて破る
ことは出来ぬ。

時に松前勢は野戦砲に彈
丸を込めて門を開いてドド
ドンドンドンとうち直ぐ
に門をしめ又彈丸をこめて
門を開いてうち出す、うち
切ると門をしめ又彈丸をこ
める。これでは幕軍はおど
り込むことがならぬ
○「いま／＼しい奴だ、彈
丸をこめては門を開いて射
ち出すぞ如何に吾々に勇氣
あればとて野戦砲の彈丸と
組打をすることはなるまい



てをどり込んだ兵は三百人
あたるを幸ひに薙ぎたてま
たは銃をはなち、搦手より
おどり込んだその兵と一隊
となつて二の丸の柵を打ち
やぶり本丸へ亂れ入り斬り
まくつた、ために松前勢總
敗軍、城をすて、逃げる。
その行先は厚澤に館それに
江差の要塞、この江差には
殿様の志摩守侯が居られる
こゝまで引き揚げむとして
札荊根武田の村々にかゝつ
て来た、こゝは松前侯の領
地ですから農民は水を汲ん
で參る者もあれば又は食べ
物を持つて參る者もあり
○「この度は御苦勞様でこ

あびせると例の如く彈丸を
込め門を開いた時にこゝに
待つてゐた決死隊卅人槍を
持つて飛び込んだがもうか
うなると突いてゐては間合
にぬから槍で叩き仆す、イ
ヤ松前勢はおどろいて大砲
をすてて本丸を指して退く
この時大手の築地を乗越し

ございました、さぞお疲れで
ございましたませう暫時これにて
御休息遊ばせ
△「ウム大儀であるナ、イ
ヤ何うも福山の城は手ぜま
であるから一時寄せてにあ
づけて館又は江差に引きあ
げることにした、ついでには
村役人に申し聞けることが

あるこれへ出る
とこの内の大將分が村役
人を呼びよせて
△「吾々がこゝを通行いた
した後賊兵がこの村々に參
るに相違ない、彼等が見え
たならば吾々を待遇すると
同じやうに大切に取あつか
ひしかして成るべく美味を
調理して彼等に馳走いた
せ
△「長まりましてございま
す精精御馳走いたします
△「まあ待たせと馳走する
ではないぞ
役「へエ金でも取ります
か
△「さうでもない、食物の
中になこれを入れてすゝめ
袋に入つた白い薬を見せ
△「これは毒だがなこれを

食物の中に入れて馳走いた
せ、これを食せば忽ち死ぬ
村役人これを聞いて吃驚
して
役「へエ、戦といふもの
は鐵砲または刀や槍で命を
取るものとはかり思つて居
りましたが毒を用ゐること
なぞございませうか
△「これは新らしき戰術で
ある、鐵砲を放せばとて中
らぬこともあれどこの毒な
らば必ず死ぬ、しかとこの
事申し付けたぞ、もしもこ
れを與へぬ時は汝ら初めこ
の二ヶ村に居る百姓共の首
を刎る、この事をわすれる
な
といひすて、この村を去
つたがイヤ村役人はおころ
いて何うしたものであらう
とこゝで評議を開いた。

三井タクシ

平二 電六八五番

桂照院葬儀に際しては御町重なる御
弔問を辱ふし誠に難有奉深謝候茲に
謹て御厚禮申述度如斯御座候
敬 具
昭和十一年十月三日
平町白銀町
父 高橋 龜松
夫 大原 虎二
親 戚 一同

かまぼこ 製造
お惣菜用 さつま揚
吉原揚
平町一丁目
電話一四一番

貴方の御家庭に
本會を御利用下さい
直に家政婦派出します
派出多忙に付會員至急募集
上原家政婦會
會主産婆 上原通子

胃腸病科 皮膚科
院醫 性胃腸病科
院醫 性胃腸病科
院醫 性胃腸病科